



「全国ポリナビワークショップ in 岐阜」 報告

— 青年部推進委員会 リーダー 宮本輝美 —

テーマ

「つなげる ・ ひろがる
看護の未来」

平成 26 年 10 月 11 日(土)全国ポリナビワークショップin岐阜が開催され、富山県看護連盟より 8 名が参加しました。ワークショップでは、衆議院議員野田聖子先生による「若者よ！未来を切り開け」という演題の基調講演と、「看護の未来を語る」というテーマで、4 人のシンポジストによるシンポジウムが行われ、富山県からは、真生会富山病院の表野季美子さんが、「視機能看護からみた未来」と題して発表されました。若手会員の看護に関する熱い思いを聞き、明るい未来への期待と実現を願いました。又、改めて「政治と看護のつながり」「現場の声を国政に届けることの大切さ」を痛感しました。

ワークショップ参加後、参加者と青年部推進委員・会長・副会長・幹事長参加のもとに、報告会を開催しました。参加動機や参加しての感想、今後の自分の課題等を報告し、看護現場の問題について意見交換を行いました。稲田会長から、「現場の声を聞かせて頂いた。聞かせてもらった問題は、政治を動かさないと解決につながらない。そのためには、看護連盟活動の組織強化が必要である。」と助言されました。参加者は、それぞれが組織強化活動に具体的に取り組まなければならないと強く心に刻みしました。

青年部推進委員会は、組織強化活動に積極的に取り組まなければなりません。若手会員の皆さんと共に活動の場を広げていきたいと思っています。



<ポリナビワークショップ 参加者の声>

◇参加動機

・上司に勧められた ・連盟活動やポリナビの活動について知りたい ・全国の仲間との交流を図りたい

◇参加しての感想と今後の課題

- ・全国の仲間と交流する中で、情報交換したことを今後の臨床の現場に生かしたい
- ・支部役員として連盟活動をもっと活発に行い、会員増加に繋げたい
- ・ポリナビ活動について広めていきたい
- ・仲間の輪を広げる活動をして、自分の意見を述べていきたい
- ・看護職が働きやすい職場にするために政治について学びたい

<看護現場の問題について — 現場の声 — >

- ・夜勤が多い。・休みが少ない。・給料が安い。・人員不足である。
- ・ワークライフバランスがその人らしく対応できていない。
- ・中堅Nsが少なく、若いNsへの指導が十分できない。
- ・専門Ns, 認定Ns等、資格を取って頑張っているが、負担が多く大変である。
- ・看護の診療報酬が見えなく、看護が給料に結びつく何かあればよい。……等

